

News Fujimi



町内に100歳以上の方10名です

◆男性3名 女性7名 (9月15日現在)

大正、昭和の戦争時代を経験され、その後の復興まで激動の時代を駆け抜けてこられた皆さんに敬意を表し、小林一彦町長から記念品などが贈られました。

若宮の前島一男さん99歳(写真)は小林町長からの「これからもお元気で長生きしてくださいね!」という言葉に、「ありがとうございます」としっかりお答えされていました。



各集落で笑顔いっぱい「祝 敬老会」

◆おじいちゃん、おばあちゃんいつまでもお元気で

9月18日(日)、19日(祝・月)に各集落で「敬老会」が行われました。保育園児による元気いっぱいの踊りから始まり、小学生のダンスや婦人部の皆さんによる詩吟・歌



謡ショーなどイベントが盛りだくさんで、参加した方の一人は、「とても元気をもらいました」と喜んでいました。

(写真左:立沢/写真右:乙事)



仲間と共に秋晴れの下「お祭り」

◆長持ちと子ども神輿(写真:富里)

10月2日(日)秋晴れの下、富士見区と富里区で「お祭り」が行われました。参加したお母さんは「お祭りにはいろいろな意味があると思います。だけど健康でいられることと、毎日生活できることの感謝を考えました」と言っていました。



ルバーブの収穫を体験

◆都内から参加者を募った収穫ツアー

10月13日(木)に「富士見町赤いルバーブ収穫ツアー」が初めて開かれました。町のルバーブジャム作りにレシピを提供した料理研究家の方が、企画して募集したところ、18名の参加がありました。

参加者は赤い茎の根元を折って1本ずつ取り、「初めて栽培中のルバーブを見ました」「安全で新鮮な素材を作っているのが分かりました。ジャムにするのが楽しみです」と、うれしそうに話していました。



第74回「赤彦祭」

◆碑前祭・記念講演

10月15日(土) 碑前祭が富士見公園にて、また記念講演がコミュニティ・プラザにおいて開催されました。

当日は小雨が降る中ではありましたが、小学生からご年配の方達まで、多くの方が集まりました。短歌展へ入選した方は「初めて入選したのでうれしいです。また、来年も応募してみたい」と笑顔でした。



縄文時代に直接触れた一日

◆高原の縄文王国「収穫祭2011」

10月16日(日)に井戸尻史跡公園で収穫祭が行われました。心配されていた雨も上がり、「KURI」による音楽演奏、「富士見太鼓保存会」による太鼓演奏などの他、石斧を使った木切り、土器づくり、野菜の直売、豚汁や綿あめのお店などがあり、一日で満喫できないほどのイベントでした。



複合福祉施設「清泉荘」安全祈願祭

◆工期：平成23年10月3日～平成24年3月20日

10月17日(月)に「清泉荘」新築工事に向けた安全祈願祭が、無事に執り行われました。工事概要は鉄骨造2階建て、延床面積約1,500㎡です。

新たな施設で皆さんが心地よく利用できるよう、また安全に工事が進み、一日も早い開所を願います。

